

■ 2) 説明 5 点

▼行事名

ミニヨコハマシティが生まれる

▼団体名

特定非営利活動法人I Loveつづき

ミニヨコハマシティ研究会

▼参加人数

登録市民223人（内58人が運営市民）

大人入場者数103人 スタッフ約50人 延べ参加人数2日間で500人

▼特徴（開催場所、主催者、他の「こどものまち」と比べて）

すでに街の中のイメージがもてる、住宅展示場での開催。

横浜市こども青少年局の委託事業であること。

ミニヨコハマシティ研究会は横浜市職員有志と市民グループ、こども環境学会研究者、大学生等からなる。

19歳以下のまち（選挙権のない人のつくるまち）

市長候補を応募段階から募集。次回へとつなげられるマニフェスト重視。

▼準備（体制、期間）

1月から運営市民募集開始。応募が来次第、ヒヤリングを行った。3月4日のこどもまち会議までにすべてのこどものヒヤリングを終了。3月4日終日ワークショップをしてまちの機能をこどもたちが主体で決めた。

その後2週間の間に準備をしたり、お店に修行にいたり。

3月17日まちがオープンした。期間は今回は2日間。

1日目に市長演説、2日目投票締め切り、市長所信表明演説会も行った。